



兵庫県立神戸高校所蔵の絵葉書(約8,500枚)

永田, 實
宗, 敦夫

(Citation)

兵庫地理, 56:59-69

(Issue Date)

2011-03-31

(Resource Type)

journal article

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90003225>



兵庫県立神戸高校所蔵の絵葉書（約 8,500 枚）

永田 實・宗 敦夫

1. はじめに

筆者らの関係する兵庫県立神戸高等学校（以下、本校）の校史記念室では約 8,500 枚の絵葉書が保存されている。その保存経緯について、はじめに説明しておきたい。

本校本館は旧制県立第一神戸中学校（略称：神戸一中）時代、1938 年に竣工したものである。2000 年 10 月から 2002 年 2 月、その改築が行われた。ただし、正面玄関を中心に、面積からすれば約 4 分の 1 は改修のうえ保存された。この改築・改修工事を前に保存の要が認められたものは仮設校舎や倉庫に移動された。要が認められなかったり存在そのものが気づかれなかったものは、その場に置かれた。そして、建物とともに破砕され廃棄された。筆者（永田）が関係するものは、なるべく保存しようと仮設校舎や倉庫に移したが、目に触れず破棄されたものも多い。

絵葉書は改築部分の北東端、本館 3 階の一室にあった。この部屋は神戸一中時代と新制高校になってからもしばらくは化学実験室（西隣りは化学準備室）であった。1972 年に科学館が完成してからは、社会科教室に転用されたようである。

その南壁沿いに、専用の木製収納ケースに入れられた大量の絵葉書が保存されてきた¹⁾。壁には生徒の描いた気候区分図や新聞の切り抜きなどが掲示され、室内には生徒製作の立体地形模型や大きな地球儀なども置かれていた。それらも絵葉書の木製収納ケースと同様、年代を感じさせる存在であった。

改築（一部改修）工事が終わったのち、絵葉書は保存部分 1 階に開設された校史記念室に移された。枚数が余りにも多いため、数年間はそのままであったが、地理の授業で生徒とともに、また卒業生の協力を得て、整理・分類に努めた。保存の価値を確認するため、絵葉書の収集・研究者にみてもらったり²⁾、2006 年には本会例会で発表した³⁾、国内については府県別の枚数、国外については国別の枚数、

ともに概数しか報告できなかった。2010 年には、国内外の都市ごとの分類をほぼ終えたので、教育史関係の研究会で発表した⁴⁾。

2006 年の発表以降、肝心の収集者についての新たな知見はほとんどないが、今回、これらの絵葉書についてその内容や収集の目的・収集者などについて、報告をしておきたい。

2. 絵葉書の内容

絵葉書のほとんどが第二次世界大戦前の国内外の観光地のもので、その総数は、日本列島 4455 枚、列島外 4103 枚、総数 8558 枚である。なお、全く同じ図柄・写真のものはほとんどない。

（1）日本列島のもの

都道府県別の地名ごとに整理した表が表 1 である。それをもとに、地方別の百分率を図 1 で示しておく。

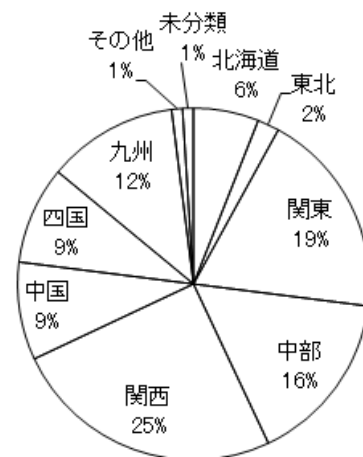


図 1 日本列島のもの

100 枚を超える府県は、多い順に香川 272、東京 272、京都 266、神奈川 258、北海道 255、和歌山 235、広島 213、石川 164、兵庫 153、奈良 147、滋賀 134、愛知 128、栃木 115、長野 114、三重 113、大分 112、静岡 109、鹿児島 104 である。合計は 2951 枚である。日本列島全体の 67.0% である。それぞれの内容をみれば、著名な観光地を擁する府県は枚数が多い。例えば神奈川の鎌倉・箱根、香川の金毘羅宮・屋島、広島の宮島、和歌山の熊野・瀬、石川の兼六園など

第1表 日本列島のもの

府県名	都市名・観光地など	枚数	小計
北海道	函館	41	255
	札幌	23	
	登別	22	
	小樽	17	
	旭川	14	
	十勝	14	
	大雪山	6	
	釧路	6	
	稚内	4	
	大沼公園	4	
	支笏湖	4	
	洞爺湖	3	
	岩見沢	2	
	苫小牧	2	
	夕張	2	
	アイヌの習俗	66	
	その他	25	
青森	青森県十和田湖	2	5
	雪の十和田湖	3	
岩手		0	0
宮城	松島	28	78
	松島・瑞巖寺	18	
	仙台瑞鳳殿（政宗墓所）	20	
	金華山	7	
	仙台	5	
秋田	秋田県十和田湖	1	1
山形		0	0
福島	福島名所	9	15
	飯坂湯野温泉	3	
	飯盛山白虎隊墳墓	1	
	会津若松、連隊区司令部	1	
	会津白虎隊の真影木像	1	
茨城	水戸	21	70
	筑波	19	
	霞ヶ浦	9	
	土浦	6	
	大洗	2	
	水戸光圀	12	
	その他	1	
栃木	日光	102	115
	足尾	7	
	鬼怒川温泉	3	
	塩原温泉	2	
	那須	1	
	その他	1	
群馬	妙義山	17	18
	伊香保	1	
	その他	1	
埼玉	大宮名勝	9	17
	県社宝登山神社	3	
	秩父札所二十八番	2	
	所沢	1	
	その他	2	
	その他	2	
千葉	佐原・利根川	24	60
	安房	13	
	木更津	10	
	房州小湊	12	
	ラジウム鉱泉成東館	1	
	その他	1	

府県名	都市名・観光地など	枚数	小計
東京	明治神宮	35	272
	東京大正博覧会	34	
	高輪泉岳寺	16	
	靖国神社	14	
	伊豆大島	12	
	上野と西郷像	10	
	楠公像	9	
	日本橋	9	
	桜田門付近	7	
	浅草	7	
	乃木神社・乃木邸	7	
	東京駅	6	
	丸の内	6	
	銀座	4	
	皇居・二重橋	4	
	議事堂	4	
	帝国劇場	4	
	多摩御陵	3	
	新歌舞伎座	3	
	墨田・両国	3	
	小笠原	3	
	多摩川	2	
	東京地下鉄	2	
	赤坂離宮	2	
	日本銀行	2	
	帝国ホテル	2	
	東京市政会館（市公会堂）	2	
	東宮御所正門	1	
	築地東京劇場	1	
	羽田飛行場	1	
	遊就館	3	
	高尾山	1	
	ニコライ堂	1	
	飛行界の勇士、葬儀行列	1	
	その他	51	
神奈川	鎌倉	98	258
	箱根・湯河原	91	
	江ノ島	42	
	横浜	17	
	大磯	2	
	小田原	1	
	キリンビール	4	
	大震災（横浜）	3	
新潟	大川津分水工事	9	32
	高田市街大雪	7	
	柏崎名所	6	
	妙高山麓スキー	6	
	新潟・白山浦	1	
	昭和2年高田の大雪	2	
富山	昭和2年直江津の大雪	1	13
	黒部峡谷	4	
	立山	3	
	富山市内	2	
	高岡	3	
	その他	1	

府県名	都市名・観光地など	枚数	小計
石川	兼六園	119	164
	金沢市	21	
	山中温泉	15	
	加賀山中	6	
	金沢城	2	
	羽咋	1	
福井	東尋坊	55	93
	敦賀	11	
	藤島神社	9	
	福井市内	7	
	高浜	7	
	三国滝石寺	1	
	新田義貞戦没地（最明寺囃）	1	
	芦原温泉	1	
	佐久間大尉銅像除幕式	1	
山梨	富岳風穴	12	29
	甲州御岳	7	
	身延山	2	
	太田町公園	2	
	精進湖畔	1	
	南アルプス駒ヶ岳、不動尊	1	
	御岳金桜神社	1	
	差出の磯亀甲橋	1	
	若尾逸平翁の銅像	1	
	山梨県庁	1	
長野	善光寺	13	114
	霧ヶ峰	11	
	天龍峡	8	
	軽井沢	8	
	諏訪湖	8	
	浅間山	8	
	浅間温泉	3	
	木曽八景	8	
	松本	5	
	白骨温泉	5	
	蓺原スキー場	5	
	野尻湖	4	
	上高地	4	
	長野市	3	
	諏訪神社	3	
	上諏訪神社	3	
	下諏訪神社	2	
	南アルプス北岳	3	
	南アルプス駒ヶ岳	1	
	日本アルプス大正池	1	
	白馬	1	
	槍ヶ岳	1	
	恵那湖	1	
	姥捨山	1	
	その他	4	
岐阜	木曽川・日本ライン	56	107
	養老	21	
	長良川	14	
	岐阜市街	10	
	飛騨高山・北アルプス	5	
	美濃電鉄津保川橋	1	

府県名	都市名・観光地など	枚数	小計
静岡	富士山	35	109
	熱海	25	
	伊東温泉	11	
	浜名湖	8	
	沼津	7	
	浜松	7	
	大宮町旅館梅月	4	
	伊豆山	3	
	精進湖	3	
	静岡市大洪水	2	
	山中湖	2	
	河口湖・富士川	2	
愛知	名古屋	22	72
	熱田神宮	16	
	熱田（神宮を除く）	4	
	豊川	13	
	蒲郡	13	
	豊橋	2	
	尾張中村妙行寺	1	
	南知多師崎港	1	
三重	伊勢内宮	8	113
	伊勢神宮	8	
	伊勢外宮	6	
	朝熊山	9	
	鳥羽	10	
	倉田山・徴古館	7	
	二見浦	24	
	伊勢	8	
	伊勢志摩国立公園	16	
	伊賀赤目	6	
	伊賀名所	7	
	その他	4	
滋賀	石山寺	13	134
	三井寺	12	
	唐崎の老松	10	
	琵琶湖畔	10	
	多賀神社	11	
	矢崎の帰帆	9	
	瀬田の唐橋	10	
	栗津	8	
	堅田の浮御堂	10	
	彦根	9	
	伊吹山	7	
	比叡山	10	
	比良の暮雪	5	
	石山村の水路	3	
	藤樹書院	2	
	近江八景	3	
	余呉湖	1	
	その他	1	
	京都市内	80	
京都	宮津・天橋立	58	266
	伏見桃山	32	
	嵐山・高雄	24	
	由良	12	
	明治天皇大葬	8	
	綾部	6	
	村岡矩子隠遁遺跡	5	
	石清水八幡宮	5	

府県名	都市名・観光地など	枚数	小計
	笠置山	5	
	宇治	9	
	保津川	3	
	福知山	1	
	北山・大原女	2	
	島津製作所標本	2	
	その他	14	
大阪	箕面	24	72
	寺社、セット	12	
	大阪、セット	10	
	堺、セット	9	
	新世界・通天閣	1	
	新大阪ホテル	3	
	麒麟ビール神埼工場	2	
	富田	2	
	生野公園	1	
	浜寺公園	2	
	住吉神社	1	
	能勢妙見山	1	
	山口銀行会議室	1	
	その他	3	
兵庫	城崎	27	153
	玄武洞	12	
	城崎・津居山港	1	
	神戸	9	
	神戸・有馬	27	
	神戸・須磨	4	
	大阪朝日新聞社・神戸支局	1	
	日本燐寸製造株式会社	5	
	赤穂	10	
	赤穂・四十七士関係	8	
	姫路城	7	
	淡路島	18	
	豊岡	5	
	淡路島（江井）	5	
	淡路島・いざなぎ神社	4	
	高砂・尾上神社	3	
	生野	2	
	三木上之丸稲荷神社	1	
	宝塚・清荒神	1	
	明石・人丸神社	1	
	明石・明石公園	1	
奈良	網干	1	147
	東大寺	20	
	春日神社	22	
	春日若宮	2	
	月ヶ瀬	11	
	手向山八幡	6	
	若草山	6	
	猿沢池	5	
	南円堂	5	
	興福寺	5	
	奈良公園	5	
	吉野	31	
	大和アルプス（大峰山）	6	
	大峰山	8	
	奈良名所	8	
	その他	7	

府県名	都市名・観光地など	枚数	小計
和歌山	白浜	61	235
	熊野・勝浦（瀬も）	50	
	瀬	29	
	高野山	29	
	那智神社・那智滝	12	
	金剛峰寺	11	
	田辺	7	
	和歌の浦	15	
	新和歌の浦	17	
	紀三井寺	2	
鳥取	和歌山城	2	12
	砂丘	5	
	山陰鉄道開通式	2	
	大山	1	
	鳥取駅	1	
	三保関	1	
島根	その他	2	48
	出雲大社	26	
	松江	8	
	小泉八雲邸	3	
	東郷温泉	3	
岡山	日御碕灯台	2	61
	その他	6	
	後楽園	57	
広島	その他	4	210
	安芸の宮島	102	
	厳島神社	33	
	厳島神社宝物	16	
	鞆の浦	17	
	福山	6	
	浅野泉邸	8	
	広島市庁	2	
	比治山	2	
	広島停留所	3	
	呉	3	
	物産陳列館	2	
	海軍兵学校	1	
	広島大本営址	3	
	その他	12	
山口	長門狭	19	77
	秋芳洞	12	
	岩国・錦帯橋	10	
	山口市内	7	
	萩	9	
	下関	6	
	防府	3	
	室積	4	
	長府	1	
	法雲寺	1	
	関門海峡	1	
	小郡	2	
	豊浦中学	1	
	山口高商図書館	1	

府県名	都市名・観光地など	枚数	小計
徳島	徳島市内	22	86
	鳴門	28	
	小松島	7	
	大歩危・小歩危	11	
	池田	3	
	阿波踊り	8	
	その他	7	
香川	金毘羅	92	272
	屋島	69	
	栗林公園	61	
	小豆島	42	
愛媛	鬼ヶ島	8	40
	伊予松山	10	
	松山市・松山城	7	
	住友別子鉱山	15	
	道後温泉	5	
	三津が浜	1	
	伊予三島	1	
高知	秋山海軍中將像	1	22
	桂浜	6	
	高知景勝	5	
	高知	5	
	室戸岬	5	
	高知市	1	
福岡	福岡名所東遊園地	10	81
	福岡名勝	5	
	小倉	10	
	太宰府	7	
	小倉水道	4	
	飯塚	9	
	耶馬溪	6	
	博多ことば	10	
	香椎宮	5	
	箱崎宮	5	
	小倉高女(秋季運動会)	3	
	箱崎宮「敵国降伏」の額	3	
	その他	4	
佐賀		0	0
長崎	大浦天主堂	5	11
	雲仙	3	
	長崎市街	2	
	高千穂神楽	1	
熊本	阿蘇山の噴煙	42	95
	阿蘇神社	5	
	その他の阿蘇	9	
	熊本城	5	
	熊本市街	8	
	水前寺公園	5	
	本妙寺	8	
	加藤神社	2	
	球磨川	3	
	熊本動物園	1	
	第五高等学校	1	
	その他	6	

府県名	都市名・観光地など	枚数	小計
大分	別府百景	42	112
	別府名勝	19	
	別府温泉名勝	15	
	別府	21	
	佐賀関精錬所	3	
	耶馬溪	4	
	豊後竹田	4	
	宇佐神宮	3	
	歩兵第二十七連隊	1	
宮崎	日向青島	47	63
	天岩戸	7	
	鶴戸神宮	5	
	その他(霧島国立公園など)	3	
鹿児島	県立高鍋農学校	1	104
	桜島	33	
	鹿児島湾・天保山	13	
	西郷隆盛の墓など	12	
	城山(七高が4枚)	10	
	鹿児島神宮	8	
	風俗(大根が6枚)	7	
	セット、鹿児島風景	7	
	市内の風景	6	
沖縄	島津斉彬関係	6	61
	東郷平八郎の生誕地と墓	2	
	那覇	11	
	首里	9	
	名護	3	
	宮古	2	
	糸満	1	
	普天間	1	
	学校	3	
	風俗	9	
	植物	5	
	琉球美人	4	
	墳墓	2	
	その他	11	
その他	巡洋艦・夕張	1	31
	御召艦・金剛	1	
	商船など(近海郵船)	3	
	各地の連隊	8	
	勤皇烈士遺墨	15	
未分類	製鉄所	3	52
	不明	52	
総計		4455	4455

第2表 日本列島以外のもの

地域	国名	都市名・観光地など	枚数	小計
A	中国	上海	165	421
		北京	15	
		青島	57	
		天津	30	
		漢口	1	
		蘇州	4	
		錦州	2	
		武漢	2	
		南京	17	
		広東	20	
		杭州	23	
		澎湖島	1	
		済南	4	
		南嶺	4	
		遼陽	12	
		江蘇	1	
		南支、中山大学	2	
		風俗	33	
		袁世凱	1	
		その他	27	
	旧満洲	旅順	113	440
		鞍山	10	
		満州	7	
		長春	2	
		大連	5	
		奉天	75	
		撫順	54	
		新京	22	
		江蘇	1	
		ハルビン	12	
		北平	11	
		安奉	4	
		鴨緑江	13	
		安東	29	
	北支	18		
	満州国郵政	10		
	南満鉄道	3		
	その他	51		
	香港		31	31
	蒙古	フフホト	8	62
		吉林	8	
	台湾	生活・風俗・文化	46	
		台北	83	338
		台南	13	
		台中	4	
		草山温泉	10	
		高雄	6	
		嘉義	4	
		基隆	4	
		新高山	8	
		阿里山	2	
		風俗	78	
その他・未分類		126		

地域	国名	都市名・観光地など	枚数	小計	
A	朝鮮	京城	206	922	
		京畿道	36		
		金剛山	77		
		慶州	50		
		大邱	37		
		平壤	73		
		釜山・慶南	62		
		群山	18		
		忠清南道	7		
		仁川	38		
		光州	7		
		大田	10		
		木浦	13		
		人物（男）	35		
		人物（女）	61		
		子供	15		
		家族	8		
		生活	107		
		儀式・行事	19		
		花	1		
		甕	1		
		鉄道	3		
		戦争	1		
		学校	2		
		妓生絵葉書	1		
		その他	34		
	樺太	豊原	25	104	
		その他	79		
	B	ハワイ		19	50
		パラオ		11	
		オーストラリア		13	
		テナアン		4	
サイパン			1		
マーシャル			1		
ヤップ			1		
C	シンガポール		38	184	
	マレー		14		
	マレーシア		10		
	インドネシア	ジャワ	9		
		その他	9		
	インド	ボンベイ	6		
		その他	54		
	ビルマ	首都	1		
		その他	3		
	フィリピン		11		
	スリランカ		14		
	サウジアラビア		1		
	タイ	バンコク	3		
ベトナム		1			
その他		10			

地域	国名	都市名・観光地など	枚数	小計
D	合衆国	ニューヨーク	108	385
		ワシントンD.C.	19	
		アラスカ州	1	
		アリゾナ州	3	
		カリフォルニア州	87	
		コロラド州	11	
		コネティカット州	1	
		フロリダ州	4	
		ハワイ州	7	
		イリノイ州	4	
		ルイジアナ州	2	
		マサチューセッツ州	16	
		メリーランド州	6	
		ミシガン州	5	
		モンタナ州	1	
		ネヴァダ州	1	
		オハイオ州	1	
		オレゴン州	4	
		ペンシルヴェニア州	10	
		テキサス州	3	
		ユタ州	6	
		ヴァージニア州	10	
		ワシントン州	21	
		ウィスコンシン州	5	
		ナイアガラ滝	3	
		ワシントン夫妻	3	
		T. ルーズベルト	1	
		その他	23	
	カナダ		19	
E	パナマ		5	20
	ブラジル		7	
	アルゼンチン	ブエノスアイレス	1	
	メキシコ		1	
	キューバ		2	
	ハバナ		1	
	ペルー		1	
	その他		2	
F	エジプト	カイロ	9	156
		スエズ	7	
		ポートサイド	5	
		アレクサンダー	1	
		アスワン	1	
		不明・未分類	106	
	モロッコ		1	
	ケニア		2	
	南アフリカ	ヨハネスブルグ	2	
		ケープタウン	1	
		プレトリア	2	
		マサイ人	2	
		ウガンダの風俗	2	
		ツールーの子供	1	
		現地人・風俗など	11	
	その他		3	

地域	国名	都市名・観光地など	枚数	小計
G	スペイン		3	770
	フランス	パリ	67	
		その他	12	
	チェコスロバキア		7	
	イギリス	ロンドン	121	
		リバプール	8	
		グラスゴー	5	
		その他	37	
	オーストリア	ウィーン	2	
	ドイツ	ベルリン	73	
		ハンブルグ	13	
		ケルン	5	
		フランクフルト	2	
		ミュンヘン	3	
		ケーニヒス湖	3	
		ライプツヒ	7	
		その他	17	
	ベルギー	ブリュッセル	18	
		ワテルロー	8	
		その他	19	
	ルクセンブルク	美術館の彫刻	1	
	スエーデン	ストックホルム	8	
	ノルウエー		1	
	イタリア	ローマ	25	
		ベニス	16	
		マルセイユ	7	
		フィレンツェ	6	
		ボンペイ	2	
		ジェノヴァ	1	
		その他	21	
	デンマーク	コペンハーゲン	3	
	オランダ		6	
	ハンガリー		15	
	チェコ	プラハ	1	
	スイス		13	
	ロシア		89	
	その他		125	
H		ホエルス湾	1	2
		日本南極探検隊	1	
	その他	探検家・菅野力男	5	5
	不明・未分類		213	213
総計			4103	4103

A : 中国
 B : オセアニア
 C : アジア
 D : アングロアメリカ
 E : ラテンアメリカ
 F : アフリカ
 G : ヨーロッパ
 H : 南極

である。北海道が多いのは、観光地としては函館・札幌などだが、それ以上にアイヌの習俗が含まれていることに起因する。個別の観光地・地名での最多は兼六園の 118 で、日光の 102 と安芸の宮島 102 などが目立つ。

これに対して少ない都道府県は岩手・山形・佐賀の 0 をはじめとし、秋田 1、青森 5、長崎 11、鳥取 12、富山 13、福島 15、埼玉 17、群馬 18、高知 22、山梨 29、新潟 32 と続く。関西からすればつながりの少ない地域ということが理由であろう。沖縄は、北海道でのアイヌの習俗と同様、風俗・植物・人物などの葉書があり、都道府県としては極端に少ない部類ではない。

(2) 日本列島以外のもの

日本列島以外のものを便宜的に A から H まで 8 地域に分けて、表 2 と図 2 で示した。A は附属の島嶼も含めた中国大陆の地域である。内訳は朝鮮 922、旧満洲（東北地方）440、中国 421、台湾 338、樺太 104、蒙古 62、香港 31 で、合計 2318 枚となる。日本列島以外の 56.5% にあたる。上海・旅順・台北・京城などの大都市の景色が多いが、それと並ぶのがその土地の生活や暮らしを写したものである。旧植民地のものが多い。

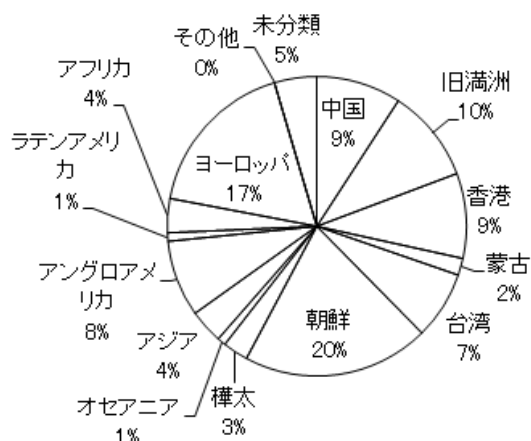


図 2 日本列島以外のもの

それ以外では、ヨーロッパ (G) 770、アンゴロアメリカ (D) 385、アジア (C) 184、アフリカ (F) 156、オセアニア (B) 50、ラテンアメリカ (E) 20、南極 (H) 2 と続く。都市別ではヨーロッパではロンドン 121、ベルリン 73、パリ 67 が群を抜いて多い。合衆国の西海岸の地域も多いのは、神戸の

街や港とのつながりが背景にあったことを感じさせる。

特殊なものとしては、探検家の菅野力男のインド・アマゾン・ペルーなど各地での絵葉書が 5 枚ある。彼は全国の学校を回り講演活動を行い、神戸一中でも 1929 年 5 月 7 日に「南米に関して」の講話を行っている⁵⁾。彼を写した絵葉書は、後述する福岡高校の絵葉書にも含まれている。

3. 絵葉書収集の目的

これら絵葉書の収集・保存の目的は、教材用として生徒に呼びかけて収集されたものであろう。そして鉄筋コンクリートの堅牢な校舎と専用のケースで保存されていたため戦災・震災にあうこともなく、今日まで保存されてきたと推測される。

絵葉書には学年・組や生徒氏名が書かれたものも多く、その推測を裏付けている。また、使用済みのものの表書きから、生徒ではなく成人あてのものもあるから、生徒を通じて保護者から収集したものもあると思われる。

2 で見たように、日本列島と日本列島外とがほぼ同数なのは、収集を呼びかけた際、日本列島以外の珍しいものをと強調した可能性がある。そう考えると、兵庫県のものが 153 枚と少ないのうなづける。後述する旧制和歌山県師範・和歌山県女子師範のものは、教職に就いたときに役立てる目的であったのに対して、本校のものはいわゆる地誌教育のための教材収集が主目的であったと考えられる。その点、旧制福岡中学校の絵葉書と似ている。

ただ当時の在校生から、授業で提示を受けたということを聞いていないので、実態は不明である。戦後の卒業生たちで、社会科学研究会のメンバー（高校 5～6 年生）の話では文化祭で展示したことがあったという。

4. 絵葉書の提供者

(1) 神戸一中の生徒

前述のように、多くは神戸一中の生徒が、持ってきたものと推測される。学年・組とともに女性名が記されたものも少数あるが、神戸一中と合同した県

立第一神戸高等女学校（県立一女）のものと思われる。したがって、神戸一中だけでなく、本校の前身校の一つ、県立一女の旧蔵品も混じっているのかも知れない。

後述のように、地理を専攻する神戸一中卒業生にも聞いてみたが、自分たちが持って行ったことはもちろん、それを見た記憶もない。

（２）保護者・教師

使用済みの絵葉書は、生徒が保護者からもらって寄贈したと考えられる。また、教師が提供者であったものも散見する。県立一女の教師あてのものも数枚あり、なかには「県立神戸高等女学校」あてもある。この校名は1910（明治43）年度から1924（大正13）年度で、かなり古いことになる。といっても、収集期間がそうだとということではない。

（３）注目される提供者

絵柄から注目されるものもあるが⁶⁾、ここでは絵葉書収集の背景を示している例を記しておく。

①池田 多助（神戸一中3回生）

一中第2代校長。校長就任後、卒業生岡崎忠雄の援助でイギリスのパブリックスクールに行き、生徒と数ヶ月起居を共にした。校長を1920年から1945年の四半世紀勤めた。在職中に寄贈したと思われる絵葉書が4枚ある。訪英時に持ち帰ったものである。

②松本 重治（18回生）

松本重治の氏名が記された絵葉書が2枚ある。松本は1899年に生まれ1989年に死去した国際ジャーナリストである。

1枚は使用済みで、森本源太郎から松本重治の祖父・重太郎あてで、鉛筆で「松本重治寄贈」と書かれている。1919年8月、アメリカ合衆国のマサチューセッツ州ボストンで投函されている。もう1枚は未使用で、中国の安東県の絵葉書である。ペン書きで「松本重治」とある。

③範多 龍平（19回生）

龍平の祖父はE.H.Hunter（1843～1917）で、横浜から兵庫に来て造船所で働き、貿易商と並行して大阪鉄工所（造船所）を始めた。のちの日立造船である。その邸宅「ハンター邸」は神戸の代表的な異

人館の一つである。その子・竜太郎のときに帰化した。龍平は在学中サッカー部選手として活躍し、部旗にもその名前が残っている。

④上田 久（42回生）

2年生のとき（1937年）に寄贈したと思われる。西田幾多郎の孫にあたり、旧制武蔵高校卒業。その創設者・山本良吉の評伝や西田についての著述がある。

5. 収集者・収集時期について

一番興味深いのは、誰が収集の主体だったかである。収集時期とも関係するが、ともに明確ではない。

神戸一中卒業生で地理学研究者の末尾至行（在学は1941～45年度）や、浮田典良（在学は1942～45年度）にも確認したが、授業で提示されたことはない、存在を知らないとのことであった。なお、末尾名の絵葉書1枚があるが、末尾至行の実弟（在学中に戦災死）とのことであった。

戦時中の神戸一中の地理教師に近藤忠がいた。近藤は1935年11月から1941年6月まで在職しており、その頃の著作に「経済地理学に就いての一感想」（『地理学』6、p.937～p.946、1938年）と「兵庫県下の人口問題」（『人口問題』4、p.249～p.262、1941）がある⁷⁾。地理担当の彼が収集の中心であった可能性がある。ただし、絵葉書の中にはかなり古いものもあるので、近藤一人で収集したとは断言できない。

ちなみに戦時期の兵庫県内の教育機関に在職し論文を残している地理研究者として、近藤を含め18名いる⁸⁾。そのうち、高等商業・高等学校・大学に所属している者は織田武雄・田中薫・田中博・朝永陽二郎・松井武敏・渡辺久雄の6人で、高等教育機関以外の小学校・高等女学校・中学校や師範学校に所属している者もかなりいたことがわかる

なお消印から年代がわかるはずだが、未使用のものが大半であること、消印が不鮮明なことなどでその作業には至っていない。ただ絵葉書の写真の内容、提供者の名前から1930年代後半以後のものが多く印象である。

6. 他校の例

管見の限りでは、数百枚単位で絵葉書を所蔵していた例として、次の2校がある。

(1) 旧制和歌山県師範学校・和歌山県女子師範学校

和歌山大学教育学部地理学教室管理・和歌山大学紀州経済史文化史研究所所蔵の絵葉書がある。戦前の和歌山県師範学校・和歌山県女子師範学校が「郷土室」に展示する郷土資料として収集したものの延べ589枚である⁹⁾。うち絵葉書は483枚、景観や地物の古写真が106枚で、大部分が紀州地域のもの(延べ404枚)で、和歌山県師範学校の生徒と教職員、和歌山県女子師範学校の教諭名もあるが、多数は生徒からの収集である。収集の背景としては、大正末期から昭和初期にかけての「郷土教育」のムーブメントが指摘されている。

(2) 旧制福岡県立福岡中学校

もう1例は旧制福岡県立福岡中学校のもので、県立福岡高等学校の社会科教材室に残されていた。その保存の経緯は不明であるが、「絵葉書・写真等」として436点がある¹⁰⁾。ただし、元はそれ以上あったと思われる。

和歌山県師範学校・和歌山県女子師範学校のものと同様、そのすべての名称(絵葉書の内容)、時代、作者、品質・形状、法量、員数などが整理されている。時代は「大正～昭和前期」が大半である。表1・表2に準拠して分類してみると、表3・表4のようになる。地元の九州が156枚で40.0%と多いのが、本校のものと大きく異なっている。日本列島以外は合計48枚しかない。

使用済みのものが7枚あり、その1枚は1929年(昭和4)11月付で、当時の地理を担当していた山田光男あてである。このことから、彼が諸方面に呼びかけた収集者であったと思われる。なお山田は福岡中学に1928年から1948年まで在職し、学制改革時に退職したが、本校の近藤忠と異なり『地理学者の戦時期著作目録』に記載はない。

7. おわりに

2006年5月の本会例会での発表¹¹⁾のち、分類

第3表 日本列島のもの(福岡高校)

府県名	枚数	府県名	枚数
北海道	19	滋賀	6
青森	3	京都	45
岩手	1	大阪	14
宮城	1	兵庫	7
秋田	3	奈良	16
山形	0	和歌山	13
福島	1	鳥取	0
茨城	1	島根	2
栃木	1	岡山	0
群馬	0	広島	17
埼玉	0	山口	9
千葉	0	徳島	0
東京	20	香川	4
神奈川	7	愛媛	0
新潟	0	高知	0
富山	0	福岡	28
石川	4	佐賀	3
福井	0	長崎	6
山梨	0	熊本	22
長野	8	大分	62
岐阜	0	宮崎	22
静岡	4	鹿児島	13
愛知	8	沖縄	4
三重	14	総計	388

第4表 日本列島以外のもの(福岡高校)

地域・国	枚数	地域・国	枚数
中国	8	ドイツ	1
旧満洲	2	合衆国	1
樺太	3	菅野力男	10
台湾	5	その他	14
朝鮮	4	総計	48

作業と同時に枚数の確定も進んだ。あわせて他校の例として、旧制福岡中学校のものの知見が加わった。ただ、肝心の本校の絵葉書の収集者やそれ活用の実態は、ほとんど解明が進んでいない。しかも、ほぼ枚数が確定されたとはいえ、他校の場合のように、すべての絵葉書の内容・時代・形状のデータベースが作成された訳ではない。それを俟ってより正確な報告をすべきであると思う。

しかし今後時日を経たとしても、収集者や活用方法の解明や、本校関係者の手によるデータベース作成がなされる可能性が大きくなるとは限らない。そういう意味から現時点での、一旧制中学校が所有し

ていた絵葉書についての報告も無意味ではないと思う。

なお、今日のように世界の情報が容易に入手できた時代ではないから、旧制中等学校では同じような目的で絵葉書を収集していたことは多かったはずである。今後他校の例がみつかることを期待している。

戦前の資料を扱ったため、現代からすれば不適切な表現が含まれていることを断るとともに、稿中の氏名についてはすべて敬称を省略したことをお許しいただきたい。

付記

筆者（永田）は 1969 年の本会入会以来、稲見悦治先生・星野輝男先生や田中眞吾先生ら多くの方のご指導を得た。本稿は、それら本会を支えてこられた方がたと神戸大学教育学部在学中から長い交誼を得た野村亮太郎君に捧げたい。

野村君は県立高校の教職を経て、神戸大学文学部助教授として寸刻を惜しみ研究・教育に取り組んでいたさなかの 1995 年 4 月 23 日、阪神・淡路大震災の余波ともいえる事故で歿した。筆者はその直後の 5 月の本会例会で、本稿の第 1 報となる発表を行った。そのきっかけは、神戸高校 100 年史編纂に関して話した内容を覚えていた彼が、1995 年度の年次計画をたてた評議員会で、筆者に勧めてくれたことであった。爾来 15 年、彼からの課題にやっと応えられた気がする。

本稿作成にあたっては、稿中記載の方がたのほか次の方がたにも教示・協力をいただいたことを深謝する。富岡勝氏（近畿大学教職教育部）・水崎雄文氏（元福岡県立修猷館高校）、伊丹威氏・柴田衛氏・加生武秀氏・小野航氏・中西優介氏・白澤佳奈氏・増井愛美氏（以上、本校卒業生）。

注

1) 筆者（永田）は 1993 年に神戸高校に赴任し、この絵葉書の存在を知り、1995 年 5 月 27 日の本会例会で「戦前版『兵庫教育』にみる地理教育」として触れた。「兵庫地理」第 41 号（1996 年 3 月）にその要旨がある。

- 2) 『神戸のハイカラ建築—むかしの絵葉書から』（神戸新聞総合出版センター、2003 年 12 月）の著者、石戸信也に見てもらった。このときの石戸のコメント「戦災や改築を経てこれだけの数が残っているのは驚き。（中略）単なるコレクションでなく、教育現場で利用されていたとすれば大変興味深い」は、神戸新聞 2004 年 9 月 17 日付（夕刊）に掲載された。
- 3) 2006 年 5 月 27 日の本会例会で、「神戸高校所蔵の絵葉書（約 7 千枚）に関して」と題して発表し、要旨を「兵庫地理」第 52 号に掲載した。このときの枚数は、約 7 千枚であった。
- 4) 2010 年 5 月 21 日、中等教育史研究会の第 47 回研究会（会場：九州大学教育学部）で、「神戸一中旧蔵、約 8 千枚の国内外の絵葉書について—神戸高校所蔵資料の紹介—」と題して発表した。
- 5) 神戸高校 100 年史編集委員会（1997）：『神戸高校百年史』「学校編」、兵庫県立神戸高等学校創立百周年記念事業後援会、p.509
- 6) たとえば、石戸信也によれば日本燐寸製造株式会社の新工場落成記念絵葉書（袋入 5 枚）など。石戸はこれに関連して「絵葉書のイコノグラフィ—（図像学）～有翼の系譜・飛天から天使へ～」（『日本絵葉書会会報』第 13 号、2005 年）を著している。
- 7) 岡田俊裕（2006）：『地理学者の戦時期著作目録』、和田書房、p.148
- 8) 前掲 7) を検索。
- 9) 島津俊之（1998）：師範学校による絵葉書の収集と郷土教育—和歌山県の師範学校を例に一、紀州経済史文化史研究所紀要 18, pp.1-36.
- 10) 福岡市博物館（2004）：『平成 13 年度収集 収蔵品目録 19』, pp.111-130.
- 11) 前掲 3)

（ながた みのもる・元兵庫県立神戸高校）
（むね あつお・兵庫県立神戸高校）